

磐田市の人口推計について

1. 本市の人口、出生率、転入・転出の現状

●総人口・年齢3区分別人口割合 ※年度末人口

- ・本市の人口は年々減少している。(2015年) 170,311人⇒(2020年) 169,013人
- ・本市の人口に占める老年人口の割合は上昇している。(2015年) 26.1%⇒(2020年) 28.6%
- ・2020年度の人口は、社人研推計(2013年)より1,694人、市独自推計(2015年)より124人多い

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
年少人口	23,259 (13.7%)	23,166 (13.6%)	22,852 (13.4%)	22,570 (13.3%)	22,139 (13.0%)	21,801 (12.9%)
生産人口	102,684 (60.3%)	101,768 (59.7%)	100,671 (59.2%)	100,037 (58.9%)	99,818 (58.8%)	98,918 (58.5%)
老年人口	44,368 (26.1%)	45,496 (26.7%)	46,408 (27.3%)	47,118 (27.8%)	47,716 (28.1%)	48,294 (28.6%)
合計	170,311	170,430	169,931	169,725	169,673	169,013

●合計特殊出生率・出生数

- ・2017年度以降、出生率、出生数は低下している。

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
出生率	1.47	1.58	1.56	1.46	未発表	未発表
出生数(人)	1,340	1,390	1,269	1,204	1,133	1,093

●社会増減数

- ・年度によりばらつきはあるが、累計では社会増加になっている。
- ・外国人市民の増加が社会増加の原因になっている。

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	期間累計
日本人	△102	△102	△617	△198	72	△41	△988
外国人	78	498	572	486	503	26	2,163
合計	△24	396	△45	288	575	△15	1,175

●年齢階級別の社会増減 ※平成30年住民基本台帳に基づく市区町村詳細分析表

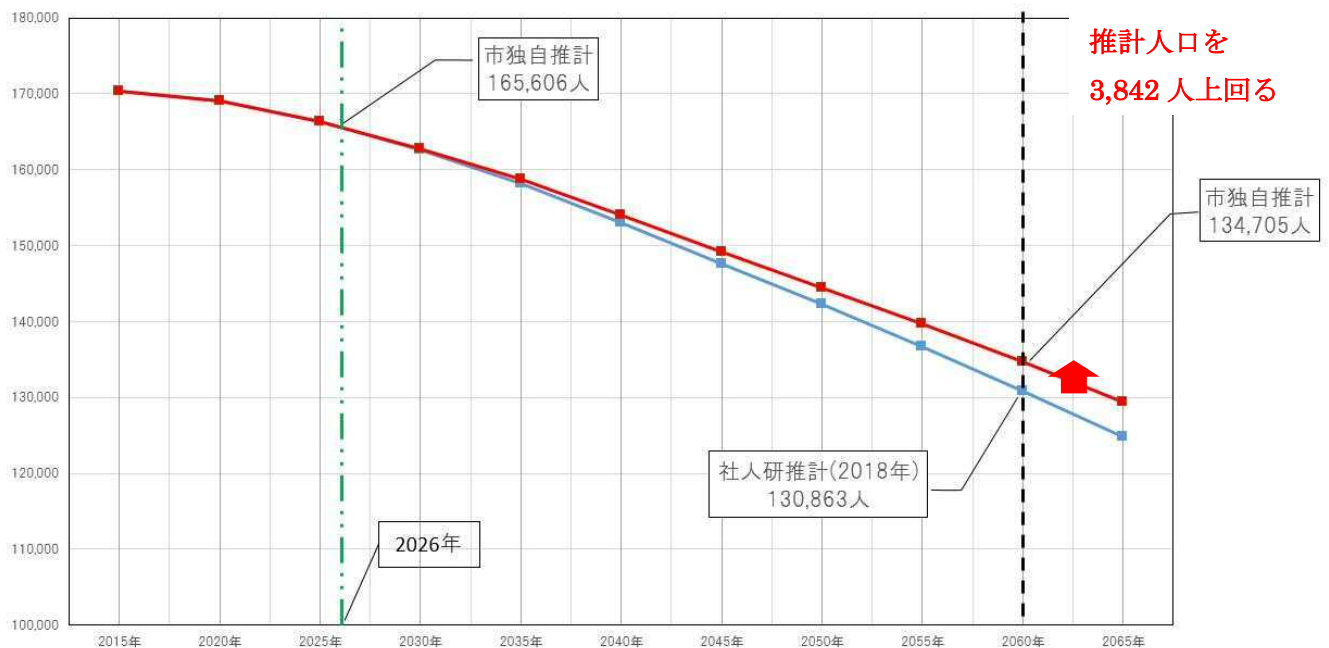
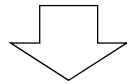
- ・20～34歳の年代は転入出が特に多い。
- ・15～19歳及び、30～34歳の年代は大きく転出超過している。

	14歳 以下	15 ～19歳	20 ～24歳	25 ～29歳	30 ～34歳	35 ～39歳	40歳 以上
転入	545	231	1,160	1,114	694	501	1,129
転出	566	316	1,156	1,118	765	499	1,130
合計	△21	△85	4	△4	△71	2	△1

2. 新たな将来人口推計

前提条件

- ① 合計特殊出生率・出生数が伸び悩んでいる状況を反映する。
 ⇒2060年までに合計特殊出生率を1.86に上昇（5年ごとに0.05ずつ改善）
 ※旧人口ビジョンでは2.07（人口置換水準）まで上昇すると想定
- ② 転入・転出の多い「20～30代の若者」をターゲットとした施策に力を入れ、その効果を反映する。
 ⇒20～24歳→25～29歳（Uターン世代）の転入を30%増加
 25～29歳→30～34歳（結婚・子育て世代）の転出を30%抑制
 ※旧人口ビジョンは毎年20～100人の社会増加を想定



3. 本市の5年後（2026年度）の目標

	2020年度 (2021年3月)	2026年度 (2027年3月)	増減
人口	169,013人	165,606人	△3,407人
年少人口 (割合)	21,801人 (12.9%)	19,840人 (12.0%)	△1,961人 (△0.9%)
生産年齢人口 (割合)	98,918人 (58.5%)	96,083 (58.0%)	△2,835人 (△0.5%)
老年人口 (割合)	48,294人 (28.6%)	49,683人 (30.0%)	1,389人 (0.4%)
合計特殊出生率	1.46 (2018年度)	1.52	0.6
出生数	1,093人	1,212人	119人